

災害事例	直面した主な課題・事象	本市への示唆・備えるべき論点
2024年 能登半島地震 (半島・沿岸・過疎地)	・主要幹線の寸断による集落の長期孤立 ・通信途絶による要支援者把握の遅れ ・厳冬期の避難所環境悪化と災害関連死の急増 ・ペット同伴受け入れ不可による危険な車中泊	・スターリンク/ドローン等を活用した非常通信・物資輸送 ・TKB（トイレ・キッチン・ベッド）の迅速な確保 ・空調付き別室等、ペット同行避難マニュアルの具体化
2016年 熊本地震 (都市・近郊型地震)	・全国から駆けつけた物資や応援部隊の滞留 ・「受援窓口」のパンクによる差配の混乱 ・車中泊によるエコノミークラス症候群の多発	・広域ロジスティクス拠点の事前確保 ・外部支援を現場につなぐ円滑な受援コーディネーター
各地の記録的豪雨 (線状降水帯・土砂災害)	・平日昼間の発災時、自主防災組織が機能せず ・役員の兼務・高齢化による現場対応力の不足 ・避難行動要支援者への個別避難計画の形骸化	・「当て職」からの脱却と複数年任期制の検討 ・市育成の防災士や消防団OB等の専門人材の実働化

出典：内閣府・環境省等の災害報告資料および各種報道等を元に仲井作成